

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月1日

事業所名 しあわせ駅 八重瀬

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		用途に応じて部屋を分けている。 机などのレイアウトや安全クッションなどで工夫し、安全に過ごせるよう配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	7		児童指導員の配置に関しては、相談し合いのうえ出勤時間や休日希望を行っている。 児童の人数にあわせ職員数の配置を適切に行っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	車いすの利用児童の移乗や移動は職員で声掛けし合い連携を図り行っている。トイレやシャワー室手すりを設置し安全管理を行っている。	玄関やトイレの段差等は、見直しが必要で、現在は、踏み台で補っている。 今後、改善していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		日々清掃し危険な物は手の届かない所に置き、整理整頓に心がけている。 また、清潔に保てるようスタッフ一同で取り組み、用途に応じ区切り(板等)でわかりやすくしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	職員の出勤日が異なるため、数回にわたって話し合いを行っている。	業務改善の為にミーティングを常に行っているが、今後さらに明確な目標設定と振り返りを行って行きたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	評価は定期的実施している。 保護者の意見を反映できるようラインや連絡帳も活用している。	保護者様の意見を積極的に取り入れ、業務改善ができるようさらに努めていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	ホームページにて公開している。	保護者様の評価を参考にし改善している途中である。ディタより会報でも改善内容等のお知らせをしていきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6		外部評価については、 現在、検討中である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		職員の出勤日が異なるため数回にわたって勉強会を行っている。 本社での研修もある。 研修した内容を職員全体で共有できるよう事業所でも勉強会を行っている。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		作成した書類を職員が確認できるよう情報共有しており、全職員で把握するようにしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	一人ひとりの特性を話し合いアセスメントツールに取り入れている。	個々に合わせたアセスメントツールを使用しているが、 今後も見直しを図っていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2	職員で情報共有を行い強化につなげていく。	これからも、 具体的な支援内容を設定するようより努めていきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		常に個々支援方法について話し合いを行っている。支援計画を職員で共有し、個々に合わせた支援を心掛けている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	職員で、話し合い提供する内容を選定している。	今後は、活動内容がマンネリ化しないようにより工夫していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	職員で、話し合い提供する内容を選定している。	今後は、活動内容がマンネリ化しないようにより工夫していきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	7		個々の特性に合わせて支援計画に取り入れている。 アセスメント内容も参照しながら、個人に合わせた支援が行えるよう、工夫しながら行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		白板を活用し、その日の予定を立てている。(時間・車・職員名等)	業務分担当は行っているが、さらに明確な役割分担を行い、時間が取れない場合は申し送り等を活用してこまめに情報共有を行い、体制を整えていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	職員同士子どもの送迎の様子や保護者からの連絡事項を情報共有している。	その日に振り返り、共有する時間を確保することが難しい場合は申し送りに書く。 記録の際、話しを(共有)する時間があるので、工夫して時間を確保して行きたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		児童の支援内容を話し合い検証・改善に努めている。	日々の記録は必ず行っているが、より良い支援に繋げていくために職員同士で情報共有など徹底していきたい。
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		児童発達支援管理責任者以外の職員も参加し、意見を述べる機会を確保している。 また、全職員が把握するよう努めている。		
関係 性	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	出来る限り、児童の様子を把握している職員が参加できるように配慮している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	役所・幼稚園・児童デイにて集まり会議を行っている。	児童にとってより良い支援を行えるよう今後も連携を行っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2		対象児童がいらないため 現在おこなっていない。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	3	対象児童がいない為、現在おこなっていない。対象児童がいた際は、主治医の指示に従い対応を行っていた(現在看護師不在のため行っていない)。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		対面や電話連絡等で児童の様子を確認を行っている。	特別支援学校等での児童の様子など、情報共有を行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		モニタリング時に児童の様子を伝えている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		研修等の機会があれば、今後ぜひ参加したいと考えている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		現在交流はない。機会があれば参加したいと考えている。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している		7		まだ不参加。今後参加の機会を作りたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		課題について、保護者とモニタリング等で話し合いを行っており、また、送迎の際も子どもの様子や状況について伝え合うようにしている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4		ペアレントトレーニングに関しては、今後、体制をきちんと整えていきたい。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に必ず書面、口頭での説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1	説明を行い、同意を得ている。	新しい職員にもきちんと同意を得ている旨を周知していきたい。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		相談に応じて必要な助言を行っている。連絡帳でのやりとりで不十分な場合は、電話対応にて支援している。	専門家の意見を取り入れながら、より必要な助言が適切にできるよう勉強していきたい。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		保護者会等は開催できていないが、今後、検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談等があった際は必要に応じてミーティングを設け、迅速かつ適切な対応を心がけている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	普段の活動内容を毎月おたよりで伝えている。	今後、おたよりの内容をより充実させていきたい。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		シュレッダー等を活用し書類の破棄などを行っている。個人情報に記載された書類は、施設での管理を行っている。	
39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		ライン等を活用し、連絡事項などやりとりをこまめにこなしている。		
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	散歩の際近隣の方から挨拶や児童への優しい声掛けがある	まだ行っていない為、今後、検討していきたい。	
非 常 時 等 の 対 応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	3	緊急時マニュアルを作成し、職員が把握できる場所へ設置している。	各マニュアルの策定は行っていたが、周知が足りなかった為、今後さらに、新しい職員、保護者様への周知を徹底していきたい。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3	年2回、避難訓練等を実施している。	訓練を実施していること、訓練内容等を新しい職員にも把握してもらえよう努めていきたい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		契約時に確認している。また、保護者様から相談があれば、都度確認及び職員間の情報共有を行っている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	現在対象児童なし。対象児童がいた際は、職員全体で把握、他児童へも声掛けを行い、アレルギーを除去したおやつ等の準備を行っていた。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	都度、ヒヤリハット報告書を記入し、事例を全職員へ情報共有するように努めている。	ヒヤリハット事例集は、作成中である。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		本社にて研修の機会あり。職員全体で把握できるよう社内でも研修を行っている。休日が異なる為1回に分けて社内研修を行なうなどの工夫もしている。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	対象児童あり。保護者に事前に説明を行い、支援計画に記載もしている。	身体拘束については新しい職員にも周知徹底していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。